

平成 19年度

特別会

土地区画整理事業

歳入	2億2,143万8千円
歳出	2億868万4千円
差引残額	1,275万4千円



19年度保留地処分金当初2,544万円予算計上し、一般保留地1画地(166㎡)付保留地4画地(100㎡)の処分を予定していたが、保留地の画地の形状や、単価面で合意が得られず処分ができなかった。平成21年度事業完了を予定しているが、未整備2画地が、補償交渉で難航しこう着状態にあることから、早急に行政の責任を果たすべきである。

公共下水道事業

歳入	7億2,163万3千円
歳出	7億1,730万3千円
差引残額	433万0千円



本事業は、平成8年度開始され、事業計画面積は695ヘクタール。認可総面積368.4ヘクタールで整備率56.4%である。町債残高は19年度末で32億5,974万円。使用世帯数804世帯、未使用世帯数1530世帯、使用率34.4%で、今後事業が進捗するに伴い町債も増加するものと考えられる。資金運用計画や、使用可能世帯への接続普及推進対策の強化を強く求めた。

水道事業

事業収益	8億1,893万1千円
事業費用	7億9,213万7千円
当初純利益	2,679万4千円



給水栓数は前年度より0.6%増だが年間総配水量は、家庭用、営業用は増加しているが団体用(疏大)の減少で前年度より0.15%減である。漏水対策として既設の排水管の老朽化の調査を早急に行い整備すべきである。

計決算認定

国民健康保険

歳入	34億6,531万1千円
歳出	38億2,459万1千円
歳入不足額	3億5,928万0千円



歳入不足額は翌年度歳入繰り上げ充用処理されている。歳入不足の主な要因は医療給付費の大幅な増加によるものである。

また未納額は4,835万6千円で前年度より385万7千円増加している。国民健康保険特別会計は前年度に引き続き歳出超過になっており、しかもその超過額は更に拡大している。

保険事業の強化、また納税の意識高揚を図るよう要望した。

老人保健

歳入	19億4,136万7千円
歳出	19億7,103万7千円
歳入不足額	2,967万0千円



歳入不足額においては、翌年度歳入繰入充用で処理されている。

繰入金においても1億5,643万8千円と前年度より増加している。医療給付費も前年度より4,254万6千円の増加、老人保健制度が75歳を境に20年度の後期高齢者医療制度のスタートにより、老人保健制度が移行することで医療費の負担についても広く町民に説明すべきと要望した。

介護保険

歳入	13億4,653万5千円
歳出	12億6,786万0千円
差引残額	7,867万5千円



18年度に引き続き1千万円を超える未納額が発生している。特別徴収分は毎年度収入済であるが、普通徴収分の未納発生額は更に増加することが予想される。不納欠損額も783万5千円と前年度を上回っており、毎年度給付費が増加する中で、その財源である介護保険料収入の確保を図るべきである。